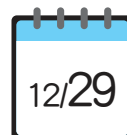


# まちの話題



## 高校管弦楽局と初のジョイントコンサート

伊福部昭記念ジュニアオーケストラによるクリスマスコンサートが文化センターで開かれ、多くの来場者が訪れました。クリスマスソングメドレーやゴジラのテーマなどが音更高校管弦楽局との初のジョイント演奏で披露されたほか、途中で泉団長が手品を披露するなど、会場は盛り上がりを見せていました。同校管弦楽局の佐藤顧問は「皆さんの協力のおかげで開催できました」と感謝の気持ちを語っていました。



## 長く続けてきて良かった

町文化協会は、「第15回北海道文化団体協議会文化奨励賞」を受賞しました。この賞は芸術文化に功績があり、活動歴が長い個人や団体に贈られるものです。同協会会長の岡田哲男さん(左から2人目)は「会員みんなが良いものを作ろうと一生懸命努力してきたことが評価されてうれしいです。これからも生きがいの持てる居場所づくりを目指していきます」と話していました。





## 交通事故死ゼロ500日達成



交通事故死ゼロの記録が1月6日で500日を達成しました。町交通安全協会会長の藤川幸二さん(左から2人目)は「500日の目標が新しい年で達成できたことはとてもうれしいです。次は700日達成が目標です」と話し、帯広警察署交通第一課長の浅野慎哉さんほか関係者と共に、次への目標を新たにしました。



## これからも国保のために



町国民健康保険運営協議会委員を12年間務めた大塚善徳さんと中塚孝子さんが、国民健康保険事業の健全な運営と発展に貢献された功績により、北海道国民健康保険団体連合会から表彰を受けました。大塚さんは「これからも町の国保のために力を尽くして行きたい」、中塚さんは「受賞はとても名誉なことです」とそれぞれ話していました。



## 高くきれいに跳びたい



サンドームおとふけでジュニアトランポリン教室が開かれ、小学1～6年生20人が参加しました。参加者は膝を抱えたり開脚する跳び方のほか、縄跳びを使った跳び方の指導も受けました。菅原真稀明君(音更小6年)は「教室で習う跳び方は全てマスターしたい」と意気込みを話していました。



## カップケーキは色鮮やかに



総合型地域スポーツクラブおんおーるが共栄コミセンで食育講座を開催しました。メニューはカップケーキ、ポテトサラダとチキンピラフで、講師は山本ひろみさんと音更高校ボランティア同好会の生徒たち。参加者は、ふんわり出来上がったカップケーキにイチゴやチョコ、ホイップクリームでデコレーションし、彩り良く仕上げていました。